

『日本の手仕事道具集』 発刊一覧

タイトル	発行日	残部	価格
No.01 鉋 その一	2007年03月	極少	1,500円
No.02 鉋 その二	2007年11月	僅か	2,000円
No.03 鉋 その三	2008年02月	僅か	2,000円
No.04 鑿・小刀	2008年08月	僅か	2,000円
No.05 鋸	2009年03月	僅か	2,000円
No.06 槌・鑿	2009年10月	多数	1,500円
No.07 墨掛・定規類	2010年02月	多数	2,000円
No.08 斧・鉋類、包丁	2010年02月	多数	1,500円
No.09 鋏類、挟む・掴む道具	2011年02月	多数	2,000円
No.10 鍛冶道具、研磨用具	2011年03月	多数	2,000円
No.11 鋸類、工具	2011年12月	多数	2,000円
No.12 鋲、篋、刷毛、型	2012年03月	多数	2,000円

※市民の方は500円引きで購入できます。

本冊子では、秋岡先生が収集した江戸から昭和に使われた手仕事道具や生活道具を写真や用途などの解説付きで一つひとつ紹介しています。編集作業を進める中で、同じ用途の道具



どま工房 研究学芸員
高橋 佳子さん

であっても使う場面によって少しずつ形状が異なるなど、使い手の要望に応えようとする作り手の意地のようなものを感じることがあります。冊子に目を通してもらうことで、当時の日本人の暮らしぶりをより身近に感じてもらうことができると思います。

「DOMA秋岡芳夫 北海道置戸展－モノへの思想と関係のデザイン」を開催します

本展示会は、秋岡氏が住んでいた東京目黒区の目黒区美術館で昨年秋に開催され、たいへん多くの来館者が訪れた展示会の巡回展です。さらに秋岡氏が置戸に残した足跡をクローズアップし、一部構成を変更して開催します。モノ、

暮らしの価値観を改めて考える必要に迫られた今、秋岡氏が考えた「人」を中心とした暮らしのあり方を置戸から発信します。

■期間 8月11日（土）～9月9日（日）

■会場 置戸町中央公民館 ほか



会期中は、どま工房でのモノづくりワークショップや、生涯学習情報センターでの併設展なども開催します。夏休み期間ですので子どもも楽しめる内容で企画しています。「伝説のデザイナー」とも称される秋岡先生の展示会を置戸で開催できることの意味を考え、置戸らしい生活や文化を創り発信する契機になればと思っています。

